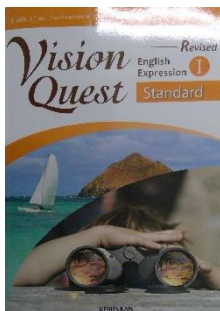


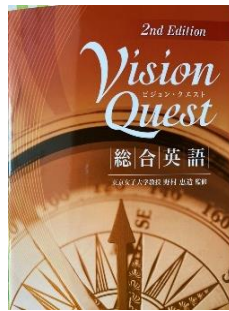
休校期間に入ってから2週間が経過しましたが、みなさんはどのように過ごしているでしょうか？生活の中での制限も多いことからストレスや疲労もたまりやすく、日々の生活のリズムも崩れがちになり、学校再開後の学習に不安を感じている人もいるかもしれません。しかし「ピンチはチャンス！」です。この自由に使える時間が普段以上にある今、すでに購入済みのテキストを使い、授業にスムーズに臨めるように準備してください。

中学では、「英語」という教科は1つしかありませんでしたが、高校に入ると「英語」には「コミュニケーション英語」と「英語表現」という2つの科目があります。今日は、「英語表現」から追加課題を出します。まず、教材の説明をします。全部で4種類ありますので、確認してください。

A



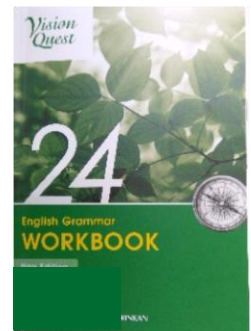
B



C



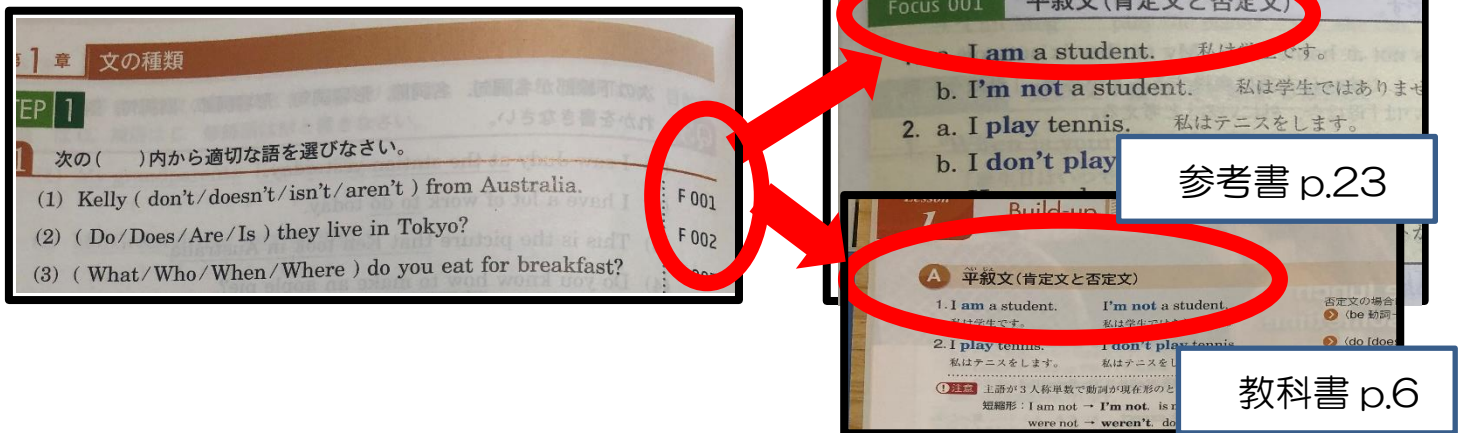
D



- A 「Vision Quest English Expression I Standard」：教科書です。
- B 「2nd Edition Vision Quest 総合英語」：参考書です。英文法に関する細かな説明が載っています。
- C Bの別冊付録「基本例文集」
- D 「Vision Quest English Grammar Workbook 24」：ワークです。

追加課題

- ① Bの参考書の「確認問題 (STEP 1のみ) (p.548)」をノートに解答し、「確認問題解答例 (p.606)」を見て、答え合わせをする。出来なかった問題があった場合は、下の写真のように、教科書又は参考書の説明部分を読んで理解を深めましょう。



- ② Aの教科書の「Lesson1 の Build-up のページ (p.6)」を読んで、Practice のページ (P.7) の問題の答えをノートに解答する。

(①と②が提出となります。学校再開後、最初の英語表現の授業で提出。)

- ③ さらに、Cの基本例文集 (p.2-3) を音読し、英語→日本語、日本語→英語の変換が出来るように暗唱すると定着します。
- ④ 余力がある人は、①②③が終わった後、Dのワークにも取り組んでみましょう。

今回皆の課題は当然「予習」という扱いですので、休校明けの授業でしっかりと扱います。「わからなかった箇所」を明確にして、休校明けの授業に備えましょう。元気な皆さんに会えるのを楽しみにしています。

Aの教科書、Bの参考書についての解説が、「スマートレクチャー」という動画配信サービスで期間限定 (5/6まで) ですが、無料で利用することができます。詳細は次のページにあります。

また、文部科学省の「子供の学び応援サイト」でも、高校生の英語学習支援のためのリンク集があります。

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00461.html#gaikokugo